

広島県中小企業団体中央会 2017年6月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

6月の出荷量は前月比1.7%増加、前年同月比9.7%増加、売上高は前月比2.8%減少、前年同月比3.8%増加となった。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成29年5月の全国の住宅着工戸数は78,481戸で、前年同月比0.3%減少、また、季節調整済年率換算値では99.8万戸（前月比0.6%減少）となった。利用関係別では、持家は23,846戸で前年同月比1.5%増加、貸家は32,956戸で前年同月比1.6%増加、分譲住宅は21,347戸で前年同月比3.9%減少となった。なお、木造住宅の着工数は44,761戸で、前年同月比4.6%増加となった。

住宅着工の動向は、前年同月比で3ヶ月ぶりの減少となっている。

こうした全国の動きに対し、広島県内の5月の着工戸数は2,261戸で前年同月比45.2%増加、このうち、持家は447戸で前年比2.0%の減少、貸家は639戸で前年比18.8%減少、分譲は1,175戸で前年比276.6%の増加となった。県全体の住宅着工の動向は、昨年の堅調な動きの反動による一時的な減少傾向から、再び上向きの気配となっており、地域別では広島市が着工戸数1,448戸で60.4%増加、福山市が255戸で7.1%増加、廿日市市が113戸で88.3%増加となった一方で、呉市は51戸で26.1%減少、東広島市は143戸で1.4%減少と、地域間でばらつきが見られ、回復基調を実感できない。需要の継続性についても先行きが見通せないとの声も多く、会員の経営規模や業態によっても売上や収益等に偏りがある聞き取り結果となった。不安定な需要環境から中小会員は依然厳しい経営環境にあり、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

景況感は依然厳しく、組合員も減少している。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から大きな変化は見られない。多忙である。損益分岐点が上昇する中、原価低減を達成しなければ利益確保が出来ない苦境が続くものと思われる。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

今月の売上は、全体的に各社横ばいの傾向にある。自動車関連は若干好調である。

消費財製品の市場は横ばい傾向である。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

29年6月 3,559m³ (対前年12.0%増加)

29年5月 3,247m³

28年6月 3,178m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軀鉄鋼協同組合連合会

これから半年間、今以上に不透明な状況が続く可能性がある。

一般機器

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は自動車関連が増加しており、前月比12%増加、前年同月比40%増加となった。

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区においては、航空機関係及びタービン・コンプレッサ、製鉄機械全般が低操業の状況にある。それに伴い協力会社各社も低操業の状況である。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は先月、大口受注物件の納品があったため、前月比26%減少、前年同月にも大口納品があったため前年同月比50%減少となった。

最低賃金の上昇が経営を圧迫している。雇用問題、賃金問題、残業規制など中小企業にとっては厳しい問題が多い。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

6月の国内自動車販売台数は全需が477千台、前年同月比13.4%増加と8ヶ月連続の前年超えとなった。登録車は前年比9.7%増加と11ヶ月連続の前年超え、軽自動車は21.5%増加と3ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車は20.0%増加と3ヶ月振りの前年超えとなった。

アメリカの5月の全需は1,519千台で前年同月比0.5%減少と5ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同8.1%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

欧州の5月の全需は1,582千台で、前年同月比5.0%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。マツダ車は同1.4%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

中国の5月の全需は2,165千台で、前年同月比3.3%増加。マツダ車も同27.9%増加と4ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の5月の海外販売合計台数は114千台、前年同月比3.3%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。

マツダの5月の輸出動向については、輸出台数は前年比1.1%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダの5月の国内生産台数は、前年同月比8.0%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成29年6月の船舶建造許可実績は3隻96,700総トン（前月2隻298,000総トン、前年同月3隻122,700総トン）であった。なお、このうち1隻は貨物船で2隻が油槽船で全て輸出船となっている。

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については前月と大きな変化はない。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

先行き不透明感が漂っている。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

市況に特に変化はなく、厳しい状況である。

商工センターのレクトに出店したマルニ木工のショップは当初予定していたより売上は上がっており、6月末に開催した新作発表会も好評であったようである。

7月は第1週目に九州の大川市にて展示会があるが、隣接の展示会場へ広島県4社が出店する予定である。

広島県が来年4月、大崎上島町に開講予定のグローバルリーダー育成校(仮称)の説明会が先月開かれ、建築・内装・備品等を一括発注ではなく、家具等木製品の分離発注について要望したが中々難しい状況である。

卸売業

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

景気は緩やかに回復基調とあるが、消費拡大に至っていないため、中小企業の実態は依然厳しい。

「資材関連」においては、全般的に受注が減少し、売上・収益ともに減少傾向である。

「食品」においては、既存の取引先は減少傾向、大型ショッピングセンターの進出の影響が大きい。

「繊維」においては、最高気温は上昇しても朝晩の最低気温が低い日が多く、春夏物の売れ行きは低調である。円安気味で輸入業者はコストアップの懸念がある。

「雑貨」においては、既存店への売上は対前年比5%と苦戦している。4月以降メーカーから商品値上げの通達があったが、売れ行き懸念から価格は現状のまま据え置いている。

●卸売業(電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の4月の住宅着工は対前年比20.3%で2ヶ月ぶりの増加。内訳としては持家は3.1%減少、貸家52%増加、分譲は30.3%増加となった。

ここにきて、大手メーカーより電設資材関係や配線器具の値上げが実施されるとの情報が出ている。金属製材料、樹脂材料の価格高騰や物流費の上昇等が値上げの要因である。

●卸売業(畳・敷物)

広島県藁製品商業協同組合

梅雨に入っても晴天が続き、生育が遅れ気味になっていた。しかし6月後半からの降雨により生育が戻りつつあるため、7月10日前後から新草の様子を見ながら刈り取りが始まる。

売上は対前年比減少。相場は横ばいのまま変化なし。新草収穫後に期待したい。

小売業

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

競合店の進出から1年が経過し、前年比売上の減少幅は落ち着いてきた。しかし、一昨年の売上に戻す打開策はなく、今後も横ばいであるとの予測である。

チューリップチェーン商業協同組合(チェーンストア)

6月の売上は、前年比、前年同月比共減少した。これは天候が良く、青果物の相場が値下がりし、単価安が大きく影響している。また、3店舗営業されていた組合員が今月下旬1店舗閉店されたこと

も売上減少の一因となっている。

今年の傾向として、行・祭事の売上が減少している。これは我々零細小売店だけの傾向であるかは不明であるが、年々こうしたイベント事が衰退しているように見受けられる。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

6月度の販売実績は前年同月比7.0%減少となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比8.6%減少、冷蔵庫同6.7%減少、洗濯機同1.3%減少、IHクッキングヒーター同13.5%減少、エアコン同3.1%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

資源エネルギー庁による小売価格調査では、広島県内は平均で前年同月比上昇、前月比下降となった。

レギュラーガソリンの前月比で2円の下落(月平均)であるが、安値量販志向の事業者の近隣では5円/L～7円/L下落している。

28年度末の給油所数を見ると、減少傾向が続いている。給油所過疎地の問題が身近に迫っている。

人手不足の問題は続いており、多くの事業者が苦慮している。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

今月は、中通りにあった郵便局が本通りに移転開局し、当組合へ加入申し込みがあった。今後来街者の増加を期待している。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比25.0%増加、前年同月比3.3%増加。車検場収入は前月比30.1%増加、前年同月比2.6%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比26.7%増加、前年比4.2%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

連休や雨天などのマイナス要因は少ないものの、受注は少なく低調である。例年通り7月に向けて受注量は上昇していくことが予想される。

建設業

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

今月は、前月比23%増加、前年同月比31%減少、前年累計費11%とやや下降傾向にある。工事見積もりに対する法定福利費の計上については、組合員の中でもまだ温度差があり、今後も啓発していくこととしている。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前月比4.4%減少、前年同月比7.2%減少となった。

神辺建設業協同組合

各自治体の本年度予算分の建設投資の発注が始まり各社受注に意欲的であるが、建設資材の高騰や型枠工・鉄筋工を中心とした労務費も高騰しており、慎重な実行予算を余儀なくされている。それに伴い公共工事単価も上昇傾向にある。

運輸業

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

マスコミに取り上げられているように、運送業界は残業時間、低賃金等労働条件の問題により人手不足が顕著で、荷物が運べない状況になりつつある。今後はさらに長距離輸送が制限され、収益も減少することが予想される。

松永地区トラック事業協同組合

6月の売上は前月比減少、前年同月比変化なしとなった。

宅配便業界では、荷主に対し、運賃値上げ交渉が盛んに行われているようであるが、他の運送業界においては大きな変化は見られない。逆に運賃値上げを荷主に要請すると安価な他の業者に変えられるのではないかと慎重に状況を見ている。

燃料価格は下落傾向にあり、燃料価格の変動が収益に与える影響は大きいため、運賃値上げ交渉と併せて実現すれば、収益状況の改善に繋がるのではないかと期待している。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

6月の荷動きに大きな変化はなかった。しかし、建設・土木関連輸送は好調である。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比、前年同月比共に特に変化はない。